

# 中北.com

地域教育情報紙

中北教育事務所  
地域教育支援スタッフ

no

4

TEL 0551-23-3046

FAX 0551-23-3013

チュウホクドットコム

中北の地域社会 (COMmunity)の心の交流 (COMmunication)をめざします

## 峡中地区・峡北地区 地域教育推進連絡協議会

### 平成27年度 教育フォーラムを開催しました。

平成27年10月28日(水)に甲斐市の日本航空学園内J-shipホールにて峡中地区・峡北地区合同地域教育フォーラムが開催されました。

本年度は「防災教育 - 家庭・地域・学校の連携 - 」と題して、首都直下地震・南海トラフ地震といった予想される災害に対して、私たちそれぞれの立場からできることについて考えました。秋晴れの空の下、平日の午後にもかわらず、400名以上の方々が集まってくださったことは、この問題への関心の深さがうかがわれます。

開会に先立ち、本年も日本航空高校太鼓隊によるパフォーマンスがアトラクションとして行われました。その演奏は、気迫のこもったすばらしいもので、1000人収容できるJ-shipホールが一瞬で静まりかえり、来場者は、耳も目も、そして心までも奪われていました。



主催者を代表して、峡中地区地域教育推進連絡協議会の佐野勝彦会長よりあいさつがあった後、実践報告として、南アルプス市立若草南小学校の澤登一浩教頭先生より同校の取り組みが紹介されました。

同校では「地域防災連絡協議会」を発足させ、1年目には高学年児童と保護者で災害の状況と実際の様子を学びました。翌年には南アルプス市の教育委員会文化財課より講師を招き、地域の災害の歴史を学ぶとともに、群馬大学より片田敏孝教授をお招きし、「釜石の奇跡」についての講演会を開催しました。過去に南湖村の水害の経験を持つ地域だけに、非常時に備えて「地域と共にある学校」づくりをしてゆくことが、子どもの命を守ることにつながるのだというお話をいただきました。



# 「山梨の災害と防災教育」

山梨大学地域防災・マネジメント研究センター 秦 康範（はだ やすのり）准教授

続いて、山梨大学地域防災・マネジメント研究センターの秦 康範（はだ やすのり）准教授より、「山梨の災害と防災教育」というテーマで講演をいただきました。以下は、講演の要旨をまとめたものです。

## 1 災害は地域の特性によって異なる

災害は、誘因(地震・豪雨・津波など)と素因(地形・施設・時間)が重なって発生するものである。したがって、地域・時間などの特性が大きく反映されることから、防災教育においては地域の特性を考慮して個別化して行う必要がある。

## 2 現在の防災教育の問題点

1) 地域性を無視して全国一律の避難訓練が行われている。マニュアル化されているために実施しやすいが問題点も多い。

2) 誤った考え方に基づいて訓練されている。

ハザードマップは万全ではない。

訓練のために簡略化されたものを全てだと思いついてはいけません。

3) 考えさせない訓練が行われている。

\* (先生に)言われたとおりに行動し、そこから逸脱しない。

\* 「してはいけない」ことがマニュアル化され、「すべきこと」を考えない。

## 3 では、どうすれば

1) 個人で備える

『自己責任』とは『自助』のことである。『危険なものに近寄らせない教育』から『危険かどうかを自分で判断し、行動させる教育』への転換、つまり、体験させ、経験値を増やす生活を送らせる。

2) 家庭・学校・地域で備える

家庭・学校・地域ごとに特性があり、状況が違うのだから、起こりうる災害と対策も違うはずである。対策は個別のものでなければならない。

生活する時間を考えると、学校にいる間に災害に



遭遇する可能性は20%程度である。残りの80%を過ごす家庭・地域での防災訓練も必要である。

大規模災害が起きたとき、行政や消防などの公的機関の対応はどうしても遅れる。地域内での共助が防災に大きな役割を持つ

## 4 (例)学校での抜き打ち避難訓練

緊急地震速報システムを活用し、学校生活での様々な場面設定(休み時間、掃除中)に、先生も参加して抜き打ちで訓練を行う。

『振り返りの時間』を設定し、どのような危険が想定され、どうするべきであったのかを考える。その場での適切な行動に気づかせるとともに、常に災害に備える心構えを持たせる。

## 5 まとめ

いざというときには、普段やっていることしかできない。

- 実際に起きる状況を想定した、課題を見つける実践的な訓練をすることが必要である。



## 北杜高等学校 創立100周年記念式典

### 創立100周年記念式典

9月27日(日)に北杜高等学校創立100周年記念式典が後藤斎(ごとうひとし)知事をはじめ多くの来賓を迎え挙行されました。

同校は大正5年に北巨摩郡立峡北農林高等学校として始まり、以後、山梨県北巨摩農学校、県立峡北農学校、県立峡北農林高等学校、県立峡北高等学校となり、昭和38年には県立須玉商業学校が分離、同50年には県立峡北農業高等学校が分離、そして平成13年には3校が合併し、県立北杜高等学校と長い変遷の歴史を歩んできました。

### 記念講演:福田 靖 氏

記念講演では、テレビドラマ「HERO」「海猿」「救命病棟24時」「ガリレオ」「CHANGE」「龍馬伝」といったよく知られるドラマの脚本家である福田靖氏を招き、「夢を追うこと、自分を生かすこと」と題し、お話をいただきました。

「劣等感を抱きながら過ごした高校時代、浪人して大学へ入ったものの勉強の面白さを感じられずに退学、そして仲間を集めての演劇活動、アルバイトで半



年稼いでは小劇場で上演を繰り返す日々を送り、気がつけば10年が経っていた。一流の脚本家は、特別な能力や生い立ちを持った人々であり、『普通』の生活をしてきた自分には才能がないことを漠然と感じていた。偶然与えられたチャンスとそれを掴むための三日三晩の徹夜。再び巡ってきたチャンスとそれを掴むことができたのは、『普通』の生活の中にあったアルバイトで得た『経験』のおかげだった。

今なら、自分が高校生の頃過ごした目標のない日々は『迷っていたのではない。目標を探していたんだ。』と言うことができる。

高校生の諸君も、ぜひ、あせらずに自分の夢を追うために、今の生活をしっかり送って欲しい。」と出席した高校生たちにエールを送っていただきました。

## 山梨県高等学校芸術文化祭

高校生の文化の祭典、「山梨県高等学校芸術文化祭」が本年度も開催されました。

11月5日(木)には、メインとなるパレードとグランドステージが甲府市で実施されました。

パレードには500人以上の高校生が参加し、山梨県庁の防災新館前で出発行事を行った後、平和通りを中心に、甲府市内を行進しました。なかでも、マーチングバンド、バトントワリング専門部より参加した各校の部員たちは、ひときわ沿道の人たちの注目を集めていました。



午後からは、コラーニー文化ホールにてグランドステージ、

テーマ・ポスターの表彰式、交流ステージが行われました。交流ステージでは、放送専門部から、第39回全国高等学校総合文化祭に参加した県立桂高校のビデオメッセージが上映されました。50年の歴史が終わる同校校舎の空撮映像と共に、関わりのあった人々の思いが紹介されました。

司会・進行、放送など行事は、すべて高校生自身の手によって行われ、県内の高校生による質の高い自主・自立を見ることができました。



## 「ビブリオバトルやまなし2015」 書評合戦観戦記

読書の楽しさを広めようと、「ビブリオバトルやまなし2015」(やまなし読書活動推進事業・県教委主催)が、秋空のもと甲府東高校で10月4日に開かれました。ビブリオバトルとは、バトラーが5分間でお薦めの本を紹介し、参加者が一番読みたい本を投票し競うゲームです。



この日は甲府東高校蒼龍文化創造館で開会式のあと、中学・高校・一般と三会場でバトルがくり広げられました。それぞれのバトラーの個性あふれる、工夫された発表に、会場に集まった本好きの方や、家族、生徒たちなどから感嘆の声が上がっていました。参加者は発表の後はお互いに交流を深め、楽しいひとときが瞬く間に過ぎました。

出場した県下18名のバトラーのうち中北地区からは、中学生の部で河西美空(田富中)さんが田辺聖子『おちくぼ姫』、高校生の部では渡辺輝(甲府昭和)さんが鈴木旭『もしも日本史がこうだったら』、赤池志織(甲府昭和)さんが、朝日新聞校閲部『まっとうな日本語』、林佑樹(北杜高)さんがオスカー・ワイルド『幸福な王子』、中込皐月(北杜高)さんがアレックス・シアラー『透明人間のくつ下』、大森朱夏(巨摩高)さんが鎌田敏夫『クロスロード』、小野巧太郎(甲府西高)さんが青崎有吾『体育館の殺人』、長谷川友香(甲府西高)さんが近藤史恵『サクリファイズ』、一般の部では小澤知也(甲斐市)さんが千松信也『けもの道の歩き方』を熱く紹介しました。



バトル終了後は、コラムニストでお笑い芸人のプチ鹿島さんが、最近の本の紹介から、読み比べなど、読書の楽しさを伝える講演があり、各部門の表彰が行われました。

得点を一番獲得したチャンプ本は、中学の部、篠田真由美『王国は星空の下』(春日居中・棚原克巳)、高校の部、近藤史恵『サクリファイズ』(甲府西高校・長谷川友香)、一般の部中脇初江『きみはいい子』(甲州市・辻もえ子)です。

高校生の部で優勝した甲府西高校の長谷川友香さんは11月23日(祝)に東京・よみうり大手町ホールで開催される関東・甲信越大会への出場権を獲得しました。



### 峡中地区・峡北地区 地域教育推進連絡協議会

期日：平成28年 2月23日(火) 14:00~16:30

会場：北巨摩合同庁舎

テーマ：「避難所HUG(防災ゲーム)」の実践

平成27年度 『中北.com』 4

編集・発行 中北教育事務所 地域教育支援  
担当 飯田野崎

〒407-0024 韮崎市本町4-2-4

電話 0551-23-3046

Fax 0551-23-3013

中北教育事務所のホームページでもご覧になれます。  
<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ch/index.html>